

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	浅間温泉癒しとやすらぎの温泉地づくり
事業主体 (連絡先)	浅間温泉旅館協同組合婦人部 (香蘭荘 小岩井 忍)
事業区分	⑥産業振興、雇用拡大に関する事業 ア特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,223,540 円 (うち支援金 : 917,000 円)

事業内容

1 宣伝事業

(1) 概要

雑誌媒体を活用してモデルコース等の宣伝、周知を図る。(記者、カメラマンによる取材)

(2) 取材時期 平成30年1月11日~1月12日

(3) 雑誌掲載「旅の手帖」3月10日号に掲載

2 健康講座

(1) 概要

地元の公民館や保健センター等を通して周知し、健康講座と地元の語りべによる歴史文化の紹介を行う。

(2) 実施日 平成29年10月26日 参加者13人



【雑誌(旅の手帖)掲載内容】

【目標・ねらい】

- ① 他の温泉地等と差別化が図れる温泉地づくりと魅力の発信
- ② 医療機関や大学などとの連携によるヘルスツーリズムにつなげる。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

1 宣伝事業

全国を対象に販売力のある雑誌媒体を利用することで、健康講座等の取組みを盛り込んだ浅間温泉の新たな魅力を県内外に発信することができ、今後の観光客誘致につなげることができた。

2 健康講座

地元への活動の周知と昨年からの継続開催により、医療機関(城西病院)との連携関係ができ、今後の活動に対するネットワークの構築につなげることができた。

※自己評価【B】

【理由】

県内外へ、活動の周知と新たな浅間温泉の魅力を発信することができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

全国的に訴求力のある雑誌媒体を活用して、本事業を盛り込んだ浅間温泉の情報を発信することで、新たな浅間温泉の魅力を県内外へ発信することができた。今後は、医療機関等と連携を強化し、ここでしか体験できない滞在型メニューとして商品化につなげていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある